

2012年岡山県知事選挙にあたっての政策協定

10月11日告示、28日投票で行われる岡山県知事選挙にあたり、生協労組おかやまと「住民こそ主人公・県民の会」から立候補を予定している大西幸一氏は、下記の「政策協定」を結び、県民本位の県政の実現に全力をあげます。

【政策協定】

- ① 消費税増税や原発再稼働、環太平洋連携協定(TPP)、オスプレイ配備など、国の悪政から県民の暮らしを守る防波堤としての役割を貫き、憲法が暮らしの中に息づく県政を実現します。
- ② 各企業に正規雇用の促進を促し、不安定な非正規雇用の削減をすすめ、ディーセントワーク（人間らしくやりがいのある仕事）の実現する岡山県を作ります。
- ③ 最低賃金の引上げと「公契約条例」の制定で安定した就労環境を実現するとともに、「住宅リフォーム助成制度」の導入や再生可能エネルギーへの転換で地域経済の活性化と雇用創出を図ります。
- ④ 医療、介護、障害者福祉、子育て支援など、社会保障を県政の最優先課題として取り組みます。国民健康保険料への県費助成を増額し、子どもの医療費は中学校卒業までを無料に、障害者医療制度は元の無料に戻します。また、生活保護行政を改善し、セーフティネットの拡充を図ります。
- ⑤ 島根原発をはじめすべての原発の停止を求め、再生可能エネルギーへの転換で「原発ゼロ社会」をめざします。地震(学校・幼稚園の耐震化)・津波・高潮・液状化対策を急ぎ、災害に強いまちづくりを行います。
- ⑥ 「農林漁業は岡山の基幹産業」と位置づけ、第一次産業の振興と地産地消の推進、食糧自給率の向上をはかります。また、「地域の足」を確保し、過疎地域(限界集落)対策をすすめます。
- ⑦ 不登校率全国上位の実態を改善するために、正規の教職員の増加をはかり、子ども一人一人の長所が生かされ、子どもの尊厳を貴ぶきめ細かい教育ができる教育環境を整えます。児童虐待やいじめから子どもの命と安全を守るため、地域や学校、保護者をはじめ行政が連携し、一体となって進める教育行政をすすめます。

以上のとおり協定します。

2012年9月11日

生協労組おかやま
委員長 坂本 浩



2012年県知事選挙
予定候補者 大西 幸一

